

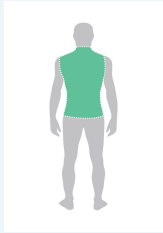
## 外来でのRECELL<sup>®</sup>単独使用による体幹背面部熱傷治療部位の色素再生

CASE STUDY / Rajiv Sood, MD, FACS / Burn and Reconstructive Centers of America, Augusta, GA

### 患者の状態

熱傷専門クリニックに現れた20% TBSAの深達性部分層熱傷を体幹背面部に受傷した28歳男性。

### RECELL治療部位



### 結語

本症例では、外来でのSpray-On Skin Cellsの使用が示され、患者の治療をRECELLシステムで行い、患者は退院、術後3日に再来院をした。RECELLシステムの使用により、医療現場での即時治療が可能となり、入院は必要とされなかった。創部は術後10日に完治し、術後21日で色素再生がはっきりと確認できた。



入院時



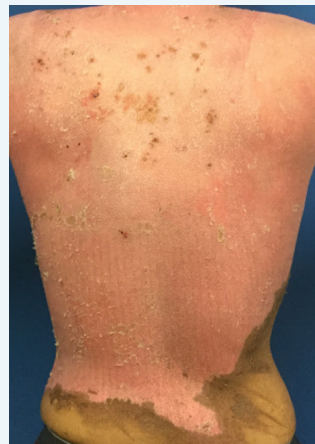
POD 3



POD 5



POD 7



POD 10



POD 21



POD 30

### 治療法

入院して間もなく、患者を手術室に運び、アブレーションによるデブリードマンを実施した。所属医師が創部の評価を行い、外来でのRECELLシステム単独治療実施を決定した。大腿部前面を80倍の拡大率での採皮部として選択した。Spray-On Skin Cellsを適用し、初回の被覆時に使用したドレッシング材にはTelfa Clear<sup>™</sup> および Mepilex<sup>®</sup> Agが含まれる。

### 臨床的アウトカム

術後3日目に患者は再来院し、Mepilex Agの除去とTelfa Clearの洗浄を行った。Telfa Clearはそのままとし、Mepilex Agは新しい物に交換した。術後5日に再度来院し上皮化が進行していることが医師により確認された。術後7日に皮膚に数か所乾燥している場所が見られたが、上皮化はその後も進行していた。術後10日に創部は完治した。術後21日に色素再生が確認された。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

RECELL専用サイト



製造販売元



© 2022 AVITA Medical. All rights reserved.

製造元

